

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月12日
【四半期会計期間】	第83期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	株式会社G S Iクレオス
【英訳名】	GSI Creos Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 深瀬 佳洋
【本店の所在の場所】	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
【電話番号】	東京（5211）1828
【事務連絡者氏名】	経理部長 松尾 慶彰
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
【電話番号】	東京（5211）1828
【事務連絡者氏名】	経理部長 松尾 慶彰
【縦覧に供する場所】	株式会社G S Iクレオス大阪支店 （大阪市中央区大手前一丁目7番31号（OMMビル）） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第82期 第3四半期連結 累計期間	第83期 第3四半期連結 累計期間	第82期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高 (百万円)	92,818	93,140	121,728
経常利益 (百万円)	1,413	1,095	1,674
四半期(当期)純利益 (百万円)	1,151	798	1,126
四半期包括利益又は 包括利益 (百万円)	743	829	929
純資産額 (百万円)	11,671	12,399	11,832
総資産額 (百万円)	58,791	60,092	57,094
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	17.89	12.41	17.51
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	19.73	20.55	20.64

回次	第82期 第3四半期連結 会計期間	第83期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日
1株当たり四半期 純利益金額 (円)	7.29	2.80

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により緩やかな回復の兆しが見受けられたものの、欧州債務危機問題の長期化や新興国の成長鈍化による世界景気の減速懸念に加え、デフレの影響等により先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は前年同期比322百万円、0.3%増収の93,140百万円となりましたが、利益率が低下したことから売上総利益は、前年同期比126百万円、1.3%減益の9,881百万円となりました。営業利益は、販管費が増加しましたので前年同期比624百万円、34.7%減益の1,173百万円となりました。経常利益は、前年同期比317百万円、22.5%減益の1,095百万円となり、四半期純利益は前年同期比353百万円、30.7%減益の798百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

繊維関連事業

機能性の高いインナー用の原糸および生地取引は大きく伸長しましたが、競争激化により利益幅が縮小しました。その他の合繊糸やインナー用地も市況悪化の影響を受け低調に推移しました。また、企画提案型の婦人ファンデーションは堅調に推移しましたが、インナーウエアならびに雑貨の小売展開は、デフレの影響もあり厳しい状況となりました。

アウトター用の生地輸出は、円高の影響を受けて韓国や中国向けが減少しました。OEM取引は、レディースの一部取組み先やアウトドア向けが堅調に推移しました。一方、婦人アパレル事業は、直営店の販売が伸びず苦戦しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比1,190百万円、1.6%増収の76,349百万円、営業利益は前年同期比715百万円、46.4%減益の827百万円となりました。

工業製品関連事業

半導体関連機材は、中国製ウエハーなどの部材が増加したものの、装置は減少しました。フィルムは、前年の震災特需の反動から売上が減少したものの、塗料・樹脂の硬化用添加剤は堅調に推移しました。

ホビー関連商品は、プラモデル用塗料および塗装用器具が堅調に推移しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比868百万円、4.9%減収の16,790百万円、営業利益は前年同期比19百万円、3.2%増益の650百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より事業名称変更に伴い、従来の「非繊維関連事業」から「工業製品関連事業」に標記を変更しております。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権の増加などにより、前期末比2,998百万円増加の60,092百万円となりました。

負債は、仕入債務の増加などにより、前期末比2,431百万円増加の47,692百万円となりました。

純資産は、四半期純利益による株主資本の増加などにより、前期末比566百万円増加の12,399百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発活動について、特記すべき事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	64,649,715	64,649,715	東京証券取引所 (市場第一部) 大阪証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株で あります。
計	64,649,715	64,649,715	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高(百万円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	-	64,649	-	7,186	-	913

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成24年9月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 305,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 63,777,000	63,777	-
単元未満株式	普通株式 567,715	-	-
発行済株式総数	64,649,715	-	-
総株主の議決権	-	63,777	-

(注)1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式336株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
(自己保有株式) 株式会社G S Iクレオス	東京都千代田区九段南 二丁目3番1号	305,000	-	305,000	0.47
計	-	305,000	-	305,000	0.47

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人 保森会計事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,435	7,931
受取手形及び売掛金	2, 3 27,640	2, 3 30,249
商品	9,236	9,442
未着商品	124	28
その他	1,248	1,662
貸倒引当金	523	520
流動資産合計	46,163	48,793
固定資産		
有形固定資産	5,402	5,467
無形固定資産	321	533
投資その他の資産	4 5,207	4 5,297
固定資産合計	10,931	11,299
資産合計	57,094	60,092
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 20,056	3 23,101
短期借入金	16,073	15,912
1年内返済予定の長期借入金	1,269	1,228
未払法人税等	185	249
引当金	433	213
その他	2,463	2,807
流動負債合計	40,481	43,514
固定負債		
長期借入金	3,572	2,810
退職給付引当金	1,086	989
負ののれん	0	-
その他	120	378
固定負債合計	4,779	4,178
負債合計	45,261	47,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	908	908
利益剰余金	5,219	5,755
自己株式	55	55
株主資本合計	13,259	13,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	663	651
繰延ヘッジ損益	36	31
為替換算調整勘定	775	761
その他の包括利益累計額合計	1,475	1,444
少数株主持分	48	49
純資産合計	11,832	12,399
負債純資産合計	57,094	60,092

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	92,818	93,140
売上原価	82,809	83,258
売上総利益	10,008	9,881
販売費及び一般管理費	8,210	8,708
営業利益	1,798	1,173
営業外収益		
受取利息	16	85
受取配当金	42	51
為替差益	-	38
その他	37	109
営業外収益合計	96	284
営業外費用		
支払利息	307	288
為替差損	109	-
その他	63	74
営業外費用合計	480	362
経常利益	1,413	1,095
特別利益		
固定資産売却益	-	19
特別利益合計	-	19
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	1	0
投資有価証券売却損	-	88
特別損失合計	1	89
税金等調整前四半期純利益	1,412	1,025
法人税、住民税及び事業税	197	240
法人税等調整額	62	13
法人税等合計	259	226
少数株主損益調整前四半期純利益	1,152	798
少数株主利益	0	0
四半期純利益	1,151	798

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,152	798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	333	12
繰延ヘッジ損益	5	4
為替換算調整勘定	81	14
その他の包括利益合計	409	31
四半期包括利益	743	829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	742	829
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
(連結の範囲の重要な変更) 第1四半期連結会計期間より、吉思愛(上海)工程塑料加工有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めておりません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
一部連結子会社については見積実効税率により税金費用を算定しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の借入金に対し、保証しております。(円換算は第3四半期決算日または決算日の為替相場によっております。)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
GSI (Shenzhen) Ltd.	214百万円	GSI (Shenzhen) Ltd.	218百万円
GSI Europe-Import+Export GmbH	86	GSI Creos (Beijing) Co.,Ltd.	94
GSI Creos (Beijing) Co.,Ltd.	78	日神工業株式会社	41
GSI Shanghai Engineering Plastic Processing Co.,Ltd.	52	GSI Europe-Import+Export GmbH	11
日神工業株式会社	46		
寧波武田紡績有限公司	6		
計	484	計	365

2 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形割引高	154百万円	133百万円

3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休業日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	616百万円	475百万円
支払手形	499	465

4 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
投資その他の資産	353百万円	343百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	170百万円	198百万円
のれん償却額	0	0

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	128	2.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,159	17,659	92,818	-	92,818
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	87	87	(87)	-
計	75,159	17,746	92,906	(87)	92,818
セグメント利益	1,543	630	2,174	(375)	1,798

(注) 1 セグメント利益の調整額 375百万円には、セグメント間取引消去87百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用288百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	76,349	16,790	93,140	-	93,140
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	82	82	(82)	-
計	76,349	16,873	93,223	(82)	93,140
セグメント利益	827	650	1,478	(305)	1,173

(注) 1 セグメント利益の調整額 305百万円には、セグメント間取引消去82百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用222百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 第1四半期連結会計期間より、従来の「非繊維関連事業」から「工業製品関連事業」へセグメント名称を変更しております。

なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	17円89銭	12円41銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,151	798
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,151	798
普通株式の期中平均株式数(千株)	64,356	64,346

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月8日

株式会社GS Iクレオス
取締役会 御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員 公認会計士 大東 幸司 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 渡部 逸雄 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社GS Iクレオスの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社GS Iクレオス及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。